



# 記念樹

発行者  
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5  
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2014年10月15日 Vol.108

## 国際平和を考える

この夏の新聞にフランス中部の小村オラド  
ウールで歴史的な会談が行われたという記  
事が載っていました。

先の大戦末期1944年6月10日、村に  
抵抗運動があると疑われ、ドイツナチスの親  
衛隊が村を占拠、火を放ち、村人642人が  
虐殺されました。その痛ましい村は戦後70年  
もの間、破壊された廃墟のままの姿で保存さ  
れているといわれています。

昨年9月4日、ドイツのガウク大統領とフ  
ランスのオランド大統領が連れ立って村を訪  
れ、悲劇の現場だった教会の祭壇に向かい、ガ  
ウク大統領は「ドイツ人が犯した重い罪に向  
き合うとき、深い驚愕の念を逃れることはあ  
りません」と語り、オランド大統領は「真実の  
みが和解の礎となる。戦後両国は、過去を乗  
り越え、未来を分かち合おうと決断しまし  
た」と語ったといわれています。

また今年6月6日同じくフランス北西部  
の海岸、ノルマンディでノルマンディ上陸作戦  
70周年の記念式典が開催され、当時の連合国  
の首脳と枢軸国の首脳とが集まって、先の大  
戦で史上最大の作戦といわれた激しい戦闘

の跡に立って、連合国、枢軸国それぞれがお互  
いを許しあつて、とこしえの平和を祈念した  
と報道されました。

まさに真実の重みを踏まえた歴史的記念  
式典であり、このような形で当時の敵味方が  
平和の尊さ大切さを理解し、永遠の平和を祈  
念するという姿は歴史を理解し、過去の過ち  
を振り返り一歩でも世界平和に近づこうと  
いう大人のあるべき姿でありましょう。

それに比べてアジアでは過去の戦いの総括  
さえなされず、歴史に学ぶことすら行われず、  
小さい島々を巡つての領有権宣言などにこだ  
わつて近隣諸国と軋轢を引き起こすなど、未  
だに力で平和を勝ち取るというおぞまし  
い考えがまかり通っています。

先の大戦敗戦後1945年11月、当時の  
日本占領軍総司令官であったダグラスマック  
アーサー元帥は米国議会で日本は12歳の少年  
ではない、ドイツは45歳の壮年であると証  
言したと伝えられています。

当時まだ軍国少年を脱していなかった私  
は、日本を馬鹿にしていると怒ったものでし  
た。しかし、今考えると当時の日本はもとよ



り現在の日本も歴史認識において12歳の少  
年にも劣るのではないだろうか。理念ある  
歴史を持たない東洋の小国。ヨーロッパの深  
みのある歴史と比べて見劣りするのは已む  
を得ないことかもしれませんが、プラトンの  
国家論が2400年の歴史を通して読み継  
がれているヨーロッパの国が45歳の壮年だと  
評価されたのはむべなることかと思えます。

# がんについて

## ●はじめに

がんは近年増加傾向にある病気です。現在日本では生涯でがん罹患する

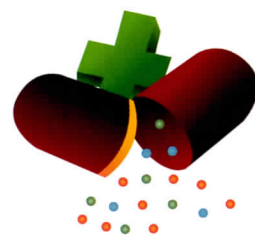
確率は、男性で約60%、女性で約45%と2人に1人が、がんを罹患するとされ、また死因の第1位(約28%)となっています。

このように、がんは死につながる怖い病気ではありますが、がんの一部は予防により発症を抑えることが可能とされ、また検診による早期発見・早期治療によりがん死亡の回避が可能とされています。今回、がんについて簡単に説明します。

## ●がんとは

体の中でできる細胞のかたまりを腫瘍と言います。腫瘍は良性と悪性に分けられ、悪性腫瘍は異常に増殖して周囲の組織や遠くの臓器まで広がります(浸潤と転移)。この悪性腫瘍をがんと言います。

がんのできる場所や、がんの組織の違いなど、がんの種類は非常に多様ですが、一般的に「肺がん」や「胃がん」など、がんのできた臓器のうし



ろに「がん」を付けて分類します。

また、消化管粘膜などの上皮細胞にできるものを「癌」、それ以外の細胞(骨、筋肉など)にできるものを「肉腫」、造血器(骨髄やリンパ組織)にできるものを「白血病」や「悪性リンパ腫」などと呼びます。これらを総称して「がん」と表現しています。

## ●がんの原因

様々な原因が挙げられていますが、特に喫煙は肺がんの原因の一つであることは広く知られています。喫煙者は非喫煙者と比較すると肺がんのリスクが高く、また、その他多くの臓器の発がん性があるとされています。

欧米での研究では特に喫煙・食事・運動・飲酒の生活習慣が代表的な要因とされ、食生活の改善により予防できる癌死亡の割合を35%、禁煙により予防可能な割合を30%としています。日本でも食の欧米化が進むにつれて、大腸癌など欧米で多いがんが増加していることより、食事がさらに影響すると考えられています。それ以外では職業要因やウイルス、

遺伝など様々な要因が挙げられています。

## ●がんの予防

がんの予防としては、タバコを吸う人は禁煙し、吸わない人は受動喫煙を避けること。また食生活としては、肉類や酒、塩分を控えた食事をし、適切な体重維持をすることが重要だと言われています。可能であればそれ以外の発がんの要因との接触を避けることも重要です。

例えば、最近副作用が話題になった子宮頸がんワクチンは、ヒトパピローマウイルス感染を防ぎ、同ウイルスによる子宮頸がんの発症を防ぎます。

## ●早期発見・早期治療

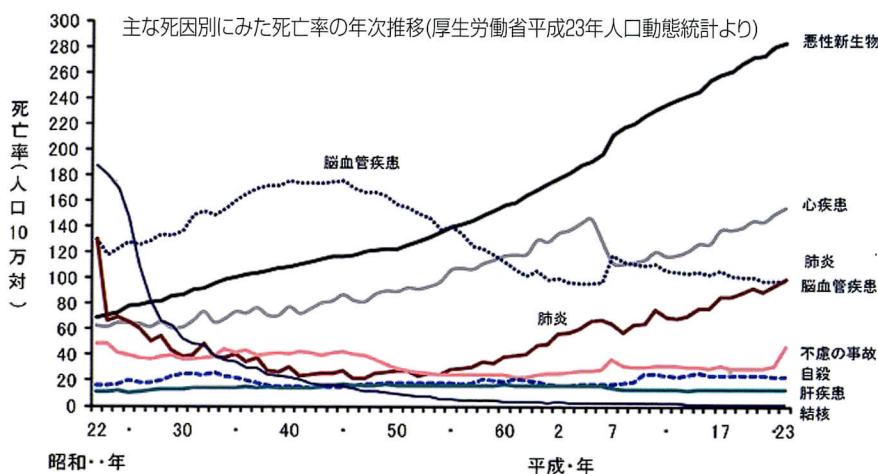
近年の治療技術の進歩により、がんは早期に治療すれば治癒率は高くなっています。また治癒を目指すためには早期発見が必要です。そのためがん検診があります。

がんは初期の段階では症状が無い場合が多く、症状が無いからといって安心という訳ではありません。がんを疑う症状がある場合は、かなり進行している状態であることも珍しくないのです。症状が無い人こそ、が

ん検診は必要なのです。

がん検診は様々な検査がありますが、胃がん検診や便潜血検査による大腸がん検診、女性の子宮がん検診や乳がん検診などは特に有効とされています。

がん検診は各地方自治体が行っており、対象年齢などが異なる場合があります。詳しくは各地方自治体に問い合わせ下さい。(白橋)



# 講演 「患者安全、そして失敗から学ぶ医療」

講師 平野 亙 先生



6月19日(木)の定例研修会は、大分県立看護科学大学広域看護学講座保健管理部准教授の平野亙先生をお招きし「患者安全、そして失敗から学ぶ医療」と題して講演をしていただきました。

平野先生は過去に3度当院にお越しいただき、医療安全に関するお話を聞かせてくださいました。今回も大変ご多忙の中、貴重なご講演をありがとうございました。以下は平野先生に執筆していただいた講演の抄録です。



## 1. 事故発生のメカニズム

事故原因の多くは人の間違い(エラー)です。エラーには組織的な問題(システム・エラー)と、個人の認知・判断・行動の誤り(ヒューマン・エラー)がありますが、人はもともとエラーを起こしやすいものです。たとえば人には、曖昧な情報に出会ったとき、見たいものを見、聞きたいものを聞くという特性があります。また人の脳は保守的で異常を認めたくないため、明確な証拠がないと行動を起こさない傾向があり、矛盾する情報がある時は、都合のよい解釈で安心する特性があります。さらに、何かの事態に対応する時、人は過去の経験から判断するため、事態が通常と違うことを意識しないと、今までのやり方でよいと思いがちです。

## 2. 事故防止の方法

医療は人の行為ですから、エラーが避けられません。人がどのような時にどのように間違い、それがどう事故に結び付くのか、情報を収集して、人の行動や環境に潜在するリスクを発見し対処を行う作業を、リスク・マネジメントとよびます。リスク・マネジメントでは、事故を未然に防止する方策を探るために、起きた事故だけでなく、未遂事例、インシデント(ヒヤリハット)情報が重要な役割を果たします。事例分析でリスクが明らかになったら、マニュアルを作成・修正したり、スタッフの教育・研修が行われなければなりません。研修では、事故防止に必要な知識や方法の理解とともに、安全に行動するための動機づけが重要です。医療人のゴールは、常に医療・ケアの質の向上であり、安全は医療の質を保障する大前提です。

## 3. 失敗から学ぶ医療

事故が発生したときは、まず患者の安全確保ですが、次に大切なのは報告と記録です。今後同様の事故を防止するために、調査・分析をしなければなりません。これらの手順はマニュアル化されるべきでしょう。事故という異常な事態が起きたとき、人は当然わかっているはずのことが思い出せなかったり、できなくなるものだからです。

事故には被害者がいます。病院としてどのように患者・家族に説明し謝罪するか、ルールが必要です。ルール作りの参考になるのが、ハーバード大学病院「真実説明・謝罪マニュアル」です。このマニュアルでは、最初になすべき4つのことをあげています。

- ①患者・家族に「何が」起こったかを話すこと。
- ②病院に責任があり遺憾の気持ちを持っていることを伝えること。
- ③謝罪(後悔の念を伝え、和解の姿勢を示すこと)。
- ④将来の有害事象を防ぐために何をするか説明すること。

事故の分析は過去の失敗から学ぶ作業ですが、苦情という患者・家族の声から学ぶことも大切です。診療報酬「患者サポート体制充実加算」の届出に関して、2013年に厚労省から「医療対話推進者」の業務指針等が示されました。今後、患者・家族の声を事故防止や質の改善につなげ、医療の場に「説明と対話の文化」が醸成されることが望まれています。



## 講演 「安全健康配慮義務について考える」 ～潜在する「労働災害、民事訴訟」のリスクに備えるために～

講師 後藤 誠 先生

7月10日(木)当院の定例研修会に、大分労働衛生管理センター健康管理部長の後藤誠先生をお招きし「安全健康配慮義務について考える～潜在する労働災害、民事訴訟のリスクに備えるために～」と題して、講演をしていただきました。お忙しい中、有意義なお話を聞かせていただき、誠にありがとうございました。

以下は後藤先生に執筆していただいた講演の抄録です。



定期健診結果や長時間残業者を放置したり、メンタル不全者や復職希望者に対して職場の独断で対応したり、労働者の健康管理体制が未熟な企業は多い。労災請求件数や認定件数は依然高水準で推移し、国は労働安全衛生法の一部を改正し(2014.6.19)、事業主の義務強化を促す動き(事業主に対するストレスチェックの義務化等)を見せている。「安全健康配慮義務」は元来明文化されてはいなかったが(\*判例で事業主に労働者への配慮の必要性を明示したのみ)、「労働契約法第5条」(平成20年)が制定され、万が一「安全健康配慮義務違反(不履行)」と認定されれば、企業は労災認定を受けるのみならず「民事訴訟」のリスクをも背負う事になる。事後措置の未実施と事業主の責任が争われた「システムコンサルタント事件(2000年)」においては、遺族側に3200万円の支払いを命じる判決が下されている。

民事訴訟のリスクを防止/低減するためには、事業主は常に「安全健康配慮義務」を意識しなければならない。「安全健康配慮義務」とは「上司(管理職)が部下の健康に配慮する義務」という意味であり、普段から部下の体調や病状を把握し、部下の業務負担の軽減措置をとらなければならない。労災や民事訴訟を防ぐためには、まず「定期/特殊健診結果の異常所見者を放置しない」ことである。プライバシーに配慮する必要はあるが、法定項目に関連する疾患(高血圧や糖尿病等)は個人情報よりも優先されるべきである。

続いて「ルール作りや就業規則の見直し」が重要であり、長時間残業・深夜業(交替勤務)従事者に対するチェックリストの活用、その後のフォロー体制の整備、産業医面談の義務化、退職/復職者に関する就業規則の見直し等は急務と思われる。過重労働(長時間残業等)のリスクは睡眠時間と密接に関連し、概ね5～6時間未満の場合、心・脳血管疾患の発症率が優位に高いというデータが多い。交替勤務者の乳がん発症リスクは約1.7倍、前立腺がんは約3倍という報告もあり、国際がん研究機関(IARC)による発がん性評価で「Group2A」(上から2番目)に分類され(2007年)、デンマークで20年間交替勤務に従事し乳がん罹患した事例を「労災認定」している(2008年)。更には「定期的な教育/啓発活動」を積極的に行い、職場の問題に応じた衛生講話、安全衛生委員会の活用、職場毎の取り組みを促すことも大切である。

そして「産業医の有効活用」が必須である。民事訴訟の際には、事業主が産業医意見を取り入れて対応したか否かが重要な判断材料になる。産業医は労働者の健康管理や企業のリスク管理において重要な役割を担う存在であることを、事業主、労働者、そして産業医自身も認識し、諸問題の解決に向け取り組むことが、労災や民事訴訟の防止の為に必要不可欠である。





## ヘモフィリア サマーキャンプ



7月26日(土)、27日(日)の2日間にわたって、第17回福友会(福岡血友病友の会)サマーキャンプが熊本市東区にある「神園山荘」で開催されました。福岡、熊本、山口、大分の患者さんとそのご家族、医療スタッフ、ボランティアの方などを併せると130名を超える大規模なキャンプでした。今年は分友会のキャンプは参加人数が少なかったため、福友会のキャンプに参加することになりました。

1日目は、入村式を済ませた後に産業医科大学病院の看護師による学童向けの自己注射の実技指導が行われました。高校生、中学生のお兄さん達が小学生達の前で自己注射の手順を実践し、小学生達は真剣な眼差しでその様子を見つめていました。

夕食には熊本名産の馬刺しが登場し、皆で舌鼓を打ちました。夕食後のキャンプファイヤーでは子供も大人も歌やゲーム、花火を楽しみました。夜の座談会では、子供へ血友病を告知する時期や、部活、就職、結婚など、それぞれの患者さんや家族の抱える悩みや不安について話し合われ、より身近に深く知ることが出来た貴重な時間でした。

2日目の朝食後は、福岡大学看護部の青野先生から当院のスタッフに向けて「血友病をもちながらの生活」というテーマで特別講演をしていただきました。血友病が親子の愛着形成にもたらす影響や、子供の発達に伴い変化していく本人や家族の課題についての理解を深めることが出来ました。その後行われたクイズラリーでは、血友病の基礎知識や歴史を楽しみながら学ぶことができました。途中でわか雨が降るハプニングもありましたが、大分記念病院Bチームが見事1位を獲得しました。

今回のサマーキャンプに参加して、勉強にレクリエーションに大変充実した2日間を過ごすことが出来ました。お世話をしていただいた福友会の皆さんをはじめ、産業医科大学病院の皆さん、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



### はやの里開設記念コンサート

## 森進一郎 トーク & ライブ

8月21日(木)13時30分より当院の多目的ホールにて、元かぐや姫の初代メンバーで、大分市のライブハウス「十三夜」オーナーの森進一郎さんをお招きして、はやの里開設記念コンサートを開催しました。今回は職員だけでなく入院患者さんを交えて、森さんの心に染み入る優しい歌声とギターの色を楽しみました。

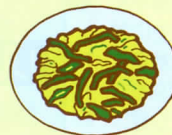
名曲「神田川」や「なごり雪」をはじめ、「愛燦燦」、「主人公」などをしみじみと聴かせてもらい、また、会場からリクエストがあった「ふれあい」、そして森さんのオリジナル曲「この街で君に逢えたら」など、全部で10曲を披露してくださいました。森さんの後輩に当たるという川谷和也さんの名司会による軽快なトークも盛り上がり、あっという間の1時間でした。

森さん、川谷さん、当日は素敵なコンサートをありがとうございました。



### 作りま専科

## ポン酢とろろの チヂミ風



#### 材料(6枚分)

長芋 …………… 1/2本  
ポン酢 …… 大さじ1.5~2  
卵 …………… 2個  
小麦粉 …… 1/2カップ  
豚バラ肉 …… 100g  
ニラ …………… 3/4束  
ごま油 …………… 適量

#### 作り方

- ① 長芋は皮を剥いてすりおろす。
- ② ポン酢醤油を加えて混ぜる。
- ③ 豚肉、ニラは3~4cmに切る。
- ④ ボウルに②を入れて卵、小麦粉を加え、箸または泡立て器で混ぜる。ダマがなくなったら、豚肉、ニラを加えてさっくりと混ぜる。
- ⑤ フライパンに、ごま油大さじ1を弱めの中火で熱し、直径8cmくらいの円形に広げる。3~4分焼き、焼き色がついたら裏返し、反対側も3~4分間焼いて取り出す。

# 新入職員歓迎 玉入れ大会



6月14日(土)19時から、毎年恒例の新入職員歓迎会が南大分体育館で開催されました。今年も昨年に引き続き玉入れ大会が行われました。今年は職員が約200名、子供達が約60名と大勢の参加者が集まり、大変活気のある大会となりました。

玉入れ大会も今回で4年目ということもあり、皆さん慣れた様子で、中には玉の投げ方や投げる際の立ち位置まで計算して試合に臨む人の姿も見られました。各試合とも熱戦を繰り広げ、試合ごとに会場は大いに盛り上がりました。

前半戦と後半戦の間に、参加した子供達を男の子チーム、女の子チームに分けてエキシビジョンマッチ戦がありました。お互いに相手に負けまいと一生懸命籠に向かって玉を投げる元気な子供達の姿は大変微笑ましく、会場を賑わせてくれました。

接戦の末、見事優勝に輝いたのは佐藤義浩先生と杉崎勝教先生、白橋頭彦先生率いる「2F病棟・外来・はやの里」の合同チームでした。結果発表の後、新入職員の自己紹介がありました。今年はダンスでアピールする新入職員もあり、最後まで楽しめました。また、今大会も負傷者ゼロで無事に閉会を迎えることができました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。これからもお互いに支え合っ



## 編集後記

巻頭言の高田先生執筆の「国際平和を考える」にありますように、歴史に学ばない東洋の小国に住む私達。戦争について、ようやく向き合うようになりましたが、世界平和を願い、少しでも近づこうとすることが大切であると思います。

そして、この夏は大変有意義な講演を2つ聞かせていただき、学びの多いものとなりました。また、はやの里開設記念に森進一郎さんを迎えてコンサートを開催し、入院患者さん大変喜んでいただきました。

ヘモフィリアサマーキャンプでは新入職員の皆さんにとって良い経験が出来たようです。盛り上がった玉入れ大会のように、チームワークを活かしてこれからも頑張っていきたいと思います。

(安東美和)

## 新入職員の紹介

今年の7月～9月に入社した新入職員をご紹介します。どうぞよろしくお願いたします。



つるだ 弦田 奈津美(看護部)

早く仕事を覚えて、患者さんに笑顔で接することが出来るよう頑張ります。



松崎 友美(栄養科)

早く仕事を覚え、元気に笑顔で頑張りたいと思います。



橋元 麻里奈(竹田クリニック 看護部)

しっかり勉強して、患者さんに安全、安心な看護を提供できるよう頑張ります。



あや 山中 文(はやの里 介護福祉士)

入居者の方の気持ちを尊重し、その人らしい生活が送れるよう笑顔忘れず頑張ります。



三ヶ田 貴敏(はやの里 介護福祉士)

1日でも早く仕事を覚え、笑顔で忘れず明るく頑張っていきます。



深井 くるみ(はやの里 介護福祉士)

利用者の方の気持ちに寄り添った介護をしていきたいと思



梶原 松子(はやの里 介護士)

常に笑顔忘れず、利用者の皆様とのコミュニケーションを大切に、精一杯頑張りたいと思



森元 能里枝(はやの里 介護士)

1日でも早く仕事を覚えて、利用者の方の皆様に信頼されるよう

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。一般の方もご自由にご参加ください。

**リレー・フォー・ライフ 大分サロンのご案内** 毎月第3日曜日 午前10:00～12:00  
 当院1階多目的ホールで開催しています。会費は不要です。

### 医療法人 大分記念病院

- 基本理念**
- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
  - 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
  - 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

- 基本方針**
- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた医師による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
  - 2) 患者の皆様への立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
  - 3) 患者の皆様への満足度を高めるべく、心のこもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

